

つなぎ言葉のあとにくる文をえらぼう

なまえ _____

小3/1まいめ 「だから」「でも」のあとにつづく文を考えよう

ひづけ _____

つなぎ言葉のあとにつづく文をア〜ウからえらんで、記号を書きましょう。

「だから」のあとは前からそうなること、「でも」のあとは前から思うのと反対のこと。

ア〜ウのうち1つは、どちらにもつづきません。

1 きょうは朝からとてもあたたかい日です。

ア あついコートを 着て 出かけました。

イ 姉はきのう新しいぼうしを 買いました。

ウ 半そでの シャツで 出かけました。

(1) だから、

(2) でも、

2 ぼくはいつもよりおそく家を出ました。

ア 目ざましどけいが こわれて いました。

イ 学校には 一ばんに つきました。

ウ 学校には ちこくして しまいました。

(1) でも、

(2) だから、

3 かぜがすっかりなおりました。

ア サッカーの練習に 行けました。

イ サッカーの練習には 行きませんでした。

ウ きのは早く ねて 体を 休めました。

(1) だから、

(2) でも、

4 妹は虫が とても にがてです。

ア チョウだけは 手に のせて あそびます。

イ 小さいころ ハチに さされた ことがあります。

ウ にわの 虫には 近づきません。

(1) でも、

(2) だから、



つなぎ言葉のあとにくる 文を えらぼう

なまえ _____

小3/2まいめ 「それで」「しかし」「けれども」も出てくる 1まい

ひづけ _____

つなぎ言葉のあとにつづく 文を ア～ウから えらんで、記号を 書きましょう。
「それで」は だから と、「しかし」「けれども」は でも と 同じ 向きです。
組ごとに つなぎ言葉が かわります。言葉の 形ではなく 向きで 考えましょう。

1 きのうの 夜は 雪が ほとんど ふりませんでした。

ア バスは いつもより おくれて 来ました。

イ 空は 一ばん中 よく 晴れて いました。

ウ バスは いつもどおりに 来ました。

(1) それで、

(2) しかし、

2 まいさんは ピアノの 練習を ほとんど しませんでした。

ア はっぴょう会では うまく ひけませんでした。

イ はっぴょう会では 上手に ひけました。

ウ ピアノは おばさんから ゆずって もらいました。

(1) けれども、

(2) だから、

3 体いくかんの そうじを みんなで しました。

ア そうじは なかなか 終わりませんでした。

イ そうじ当番は 先週 みんなで 決めました。

ウ そうじは すぐに 終わりました。

(1) しかし、

(2) それで、

4 たろうさんは ねる 前に たいくつな 本を 読みました。

ア その 本は しゅくだいで 読む ことになって いました。

イ さいごまで 目が さえて いました。

ウ すぐに ねむく なりました。

(1) だから、

(2) けれども、



つなぎ言葉のあとにくる文をえらぼう

なまえ _____

小3/3まいめ 「そして」を入れて3行になった1まい

ひづけ _____

つなぎ言葉のあとにつづく文をア～エからえらんで、記号を書きましょう。
「そして」は、前のことにつづけて話を進めたりつけ足したりするときにつかいます。
1つの文は1回だけつかいます。1つはどのつなぎ言葉にもつづきません。

1 まさるさんは川で魚をたくさんつりました。

ア 家に帰っても少しもわらいませんでした。

イ 弟も三びきつりました。

ウ まさるさんはきのうも一びきもつれませんでした。

エ 家に帰るとにこにこわらっていました。

(1) だから、

(2) でも、

(3) そして、

2 あやさんはきのうの夜いつもより早くねました。

ア 弟も同じ時間にねました。

イ きょうは一日中ねむかったです。

ウ 姉もきのうの夜はおそくまでおきていました。

エ きょうは少しもねむくありませんでした。

(1) でも、

(2) そして、

(3) だから、

3 ゆうたさんはサッカーの練習を毎日休みました。

ア ゆうたさんは先月も練習を一日も休みませんでした。

イ しあいでは二点も取りました。

ウ しあいでは一点も取れませんでした。

エ 家ではゲームも毎日していました。

(1) そして、

(2) だから、

(3) でも、



つなぎ言葉のあとにくる 文を えらぼう

小3/4まいめ つづく 文を 自分で 書こう

なまえ _____

ひづけ _____

つなぎ言葉のあとにつづく 文を、自分で 考えて 線の上に 書きましょう。
えらぶ こうほは ありません。向きが 合っていれば どんな 文でも 正かいです。
線は 2本 あります。長く なったら 下の 線につづけて 書きましょう。

1 きのは 一日中 雨が ふっていました。

(1) だから、

(2) でも、

2 ひろとさんは 走るのが とても 速いです。

(1) でも、

(2) だから、

3 にわの トマトが 赤く なりました。

(1) そして、

(2) だから、



つなぎ言葉のあとにくる文をえらぼう

なまえ _____

小3/5まいめ えらぶ 向きが 入れかわる しあげの 1まい

ひづけ _____

1と3は、つなぎ言葉のあとにつづく文を ア～ウから えらんで 記号を 書きましょう。
2と4は、はнтаいに 文を 読んで、□に入る つなぎ言葉を はこから えらびます。
2と4の (1) ～ (3) は、どれも 同じ 1文目につづく べつべつの 話です。

ことばのはこ

だから

でも

そして

1 まどの 外は まだ とても 明るい です。

ア まどの そばに 新しい 本だ なを おき ました。

イ 時計は もう 七時 を さして いました。

ウ まだ 電気 を つけ ない で 本を 読み ました。

(1) だから、

(2) でも、

(ことばのはこから えらぶ)

2 はるとさんは 毎朝 犬の さんぽに 行きました。

(1) 、犬は とても 元気 になりました。

(2) 、雨の 日だけ は 行け ませんでした。

(3) 、帰って から 花に 水も やり ました。

3 みさきさんは ノート を ちゃんと 持って きたと 思いました。

ア 安心して 一時間 目の じゅんぴ を しま した。

イ かばんの 中を 見ると ノート が あり ませんでした。

ウ 前の 日の 夜に ノート を かばんに 入れて いました。

(1) でも、

(2) だから、

(ことばのはこから えらぶ)

4 あきらはんは 朝ごはんを しっかり 食べ ました。

(1) 、二時間 目 に おなか が 鳴り ました。

(2) 、水とう に お茶も 入れて き ました。

(3) 、お昼 まで おなか が すき ませんでした。



つなぎ言葉のあとにくる文をえらぼう【こたえ】

小3/1まいめ 「だから」「でも」のあとにつづく文を考えよう

なまえ _____

ひづけ _____

赤い記号がこたえです。下の行は、つかわない文とそのわけです。
1文目より前にあったことを言う文は、「だから」のあとには来ません。

1 きょうは朝からとてもあたたかい日です。

ア あついコートを着て出かけました。

イ 姉はきのう新しいぼうしを買いました。

ウ 半そでのシャツで出かけました。

(1) だから、

ウ

(2) でも、

ア

つかわない文：イ（そうなる話でも反対の話でもない）

2 ぼくはいつもよりおそく家を出ました。

ア 目ざましどけいがこわれていました。

イ 学校には一ばんにきました。

ウ 学校にはちこくしてしまいました。

(1) でも、

イ

(2) だから、

ウ

つかわない文：ア（1文目の理由）

3 かぜがすっかりなおりました。

ア サッカーの練習に行けました。

イ サッカーの練習には行きませんでした。

ウ きのは早くねて体を休めました。

(1) だから、

ア

(2) でも、

イ

つかわない文：ウ（1文目の理由）

4 妹は虫がとてにがてです。

ア チョウだけは手にのせてあそびます。

イ 小さいころハチにさされたことがあります。

ウ にわの虫には近づきません。

(1) でも、

ア

(2) だから、

ウ

つかわない文：イ（1文目の理由）

つなぎ言葉のあとにくる文をえらぼう【こたえ】

小3/2まいめ 「それで」「しかし」「けれども」も出てくる1まい

なまえ _____

ひづけ _____

赤い記号がこたえです。下の行は、つかわない文とそのわけです。
つかわない文は、理由の文のことも、1文目とつながらない話のこともあります。

1 きの中の夜は雪がほとんどふりませんでした。

ア バスはいつもよりおくれて来ました。

イ 空は一ばん中よく晴れていました。

ウ バスはいつもどおりに来ました。

(1) それで、

ウ

(2) しかし、

ア

つかわない文：イ（1文目の理由）

2 まいさんはピアノの練習をほとんどしませんでした。

ア はっぴょう会ではうまくひけませんでした。

イ はっぴょう会では上手にひけました。

ウ ピアノはおばさんからゆずってもらいました。

(1) けれども、

イ

(2) だから、

ア

つかわない文：ウ（そうなる話でも反対の話でもない）

3 体いくかんのそうじをみんなでしました。

ア そうじはなかなか終わりませんでした。

イ そうじ当番は先週みんなで決めました。

ウ そうじはすぐに終わりました。

(1) しかし、

ア

(2) それで、

ウ

つかわない文：イ（そうなる話でも反対の話でもない）

4 たろうさんはねる前にたいくつな本を読みました。

ア その本はしゅくだいで読むことになっていました。

イ さいごまで目がさえていました。

ウ すぐにねむくなりました。

(1) だから、

ウ

(2) けれども、

イ

つかわない文：ア（1文目の理由）

つなぎ言葉のあとにくる文をえらぼう【こたえ】

小3/3まいめ 「そして」を入れて3行になった1まい

なまえ _____

ひづけ _____

赤い記号がこたえです。下の行は、つかわない文とそのわけです。
「そして」の行には、そうなる話でも反対の話でもない文が入ります。

1 まさるさんは川で魚をたくさんつりました。

- ア 家に帰っても少しもわらいませんでした。
イ 弟も三びきつりました。
ウ まさるさんはきのうも一ぴきもつれませんでした。
エ 家に帰るとにこにこわらっていました。

(1) だから、

エ

(2) でも、

ア

(3) そして、

イ

つかわない文：ウ（1文目と合わない話。きのうのことで、きょうはたくさんつれている）

2 あやさんはきのうの夜いつもより早くねました。

- ア 弟も同じ時間にねました。
イ きょうは一日中ねむかったです。
ウ 姉もきのうの夜はおそくまでおきていました。
エ きょうは少しもねむくありませんでした。

(1) でも、

イ

(2) そして、

ア

(3) だから、

エ

つかわない文：ウ（1文目と合わない話。姉のことで、あやさんは早くねている）

3 ゆうたさんはサッカーの練習を毎日休みました。

- ア ゆうたさんは先月も練習を一日も休みませんでした。
イ しあいでは二点も取りました。
ウ しあいでは一点も取れませんでした。
エ 家ではゲームも毎日していました。

(1) そして、

エ

(2) だから、

ウ

(3) でも、

イ

つかわない文：ア（1文目と合わない話。先月のことで、いまは毎日休んでいる）

つなぎ言葉のあとにくる文をえらぼう【こたえ】

小3/4まいめ つづく文を自分で書こう

なまえ _____

ひづけ _____

赤い字は答えのれいです。同じ向きの文なら、ちがう文でも正かいにしてください。
「だから」はそうなること、「でも」は思うのと反対のこと、「そして」はつけ足しです。

1 きのは一日中雨がふっていました。

(1) だから、 (れい) 外であそべませんでした。

(2) でも、 (れい) 夕方には晴れてにじが出ました。

- (1) からのあとはそうなる話。ほかの例: かさをさして買い物に行きました。
(2) からのあとは反対の話。ほかの例: 公園の池の水はふえませんでした。

2 ひろとさんは走るのがとても速いです。

(1) でも、 (れい) 泳ぐのはあまりとくいではありません。

(2) だから、 (れい) リレーのせんにえられました。

- (1) からのあとは反対の話。ほかの例: きのは一番になれませんでした。
(2) からのあとはそうなる話。ほかの例: 運動会のリレーで一番になりました。

3 にわのトマトが赤くなりました。

(1) そして、 (れい) 赤いトマトを三こ取りました。

(2) だから、 (れい) サラダに入れて食べました。

- (1) そしてのあとはつけ足しの話・つぎにした話。ほかの例: となりのきゅうりも大きくになりました。
(2) からのあとはそうなる話。ほかの例: 家ぞくみんなであじみをしました。

つなぎ言葉のあとにくる文をえらぼう【こたえ】

なまえ _____

小3/5まいめ えらぶ 向きが 入れかわる しあげの 1まい

ひづけ _____

赤い字がこたえです。下の行は、えらんだわけ（つかわない文・前と後ろの向き）です。
同じ1文目でも、つなぎ言葉がかわると後に来る話がかわります。

ことばのはこ

だから

でも

そして

1 まどの外はまだとても明るいです。

ア まどのそばに新しい本だなをおきました。

イ 時計はもう七時をさしていました。

ウ まだ電気をつけないで本を読みました。

(1) だから、

ウ

(2) でも、

イ

つかわない文：ア（そうなる話でも反対の話でもない）

（ことばのはこからえらぶ）

2 はるとさんは毎朝犬のさんぽに行きました。

(1) **だから**、犬はとても元気になりました。

(2) **でも**、雨の日だけは行けませんでした。

(3) **そして**、帰ってから花に水もやりました。

前と後ろの向き：（1）そうなる話 / （2）反対の話 / （3）つけ足しの話

3 みさきさんはノートをちゃんと持ってきたと思いました。

ア 安心して一時間目のじゅんびをしました。

イ かばんの中を見るとノートがありませんでした。

ウ 前の日の夜にノートをかばんに入れていました。

(1) でも、

イ

(2) だから、

ア

つかわない文：ウ（1文目の理由）

（ことばのはこからえらぶ）

4 あきらは朝ごはんをしっかりと食べました。

(1) **でも**、二時間目におなかが鳴りました。

(2) **そして**、水とうにお茶も入れてきました。

(3) **だから**、お昼までおなかがすきませんでした。

前と後ろの向き：（1）反対の話 / （2）つけ足しの話 / （3）そうなる話